

SUPER FORMULA NEXT50 2024年 第2回カーボンニュートラル開発テスト実施報告

全日本スーパーフォーミュラ選手権(以下「SUPER FORMULA」)を開催する株式会社日本レースプロモーション(本社：東京都千代田区、代表取締役社長：上野 禎久、以下「JRP」)は、9月5日(木)・6日(金)の2日間、今シーズン2回目となるカーボンニュートラル開発テスト(以下CN開発テスト)を、鈴鹿サーキット(三重県鈴鹿市)で行いました。



<開発テスト車両 通称「赤寅」(高星明誠選手)>



<開発テスト車両 通称「白寅」(塚越広大選手)>

JRPでは2022年から「SUPER FORMULA NEXT50」プロジェクトを通じ、「カーボンニュートラルへの対応」と「エンターテインメント性の向上」の2つをテーマに、メーカーの垣根を越えてCN開発テストを繰り返し実施しています。

2023年に導入した現行マシン『SF23』は、カーボンニュートラルの対応として、原材料ならびに製造過程でのCO2排出量を約75%抑制した「Bcomp社」のバイオコンポジット素材や、天然由来の配合剤やリサイクル素材等、再生可能原料を活用した横浜ゴムの「カーボンニュートラル対応レーシングタイヤ」を採用しておりますが、今回のテストでは今後導入を目指している新しいコンパウンドとケーシング(タイヤ内の構造)と、今シーズンから導入しているオーリンズ製スペックダンパーとのマッチングを見ながら、高速コーナーや中速・低速コーナーが連続する鈴鹿サーキットを走行することでどのような反応があるかを評価しました。

開発テストにはWhite Tiger SF23(通称「白寅」)とRed Tiger SF23(「赤寅」)が参加。引き続き「白寅」の開発ドライバーは塚越広大選手、「赤寅」は高星明誠選手が開発ドライバーを担当。初日の

5日(木)は夕方 17時から1時間のチェック走行を入念に行った上で、6日(金)は午前9時からの2時間、午後1時30分から3時間、計5時間の走行テストを行いました。



<カーボンニュートラル対応レーシングタイヤと新しいステアリング>

また、カーボンニュートラル対応レーシングタイヤの評価テストと並行して、コスワース(COSWORTH)社製のステアリングや ECU(Electronic Control Unit)なども装備・装着しテストが行われました。

白寅の塚越選手は午前のセッションでは51周、午後は60周、赤寅の高星選手は午前のセッションは48周、午後は47周と、それぞれ多くの周回を重ねデータの蓄積や評価を行いました。

JRP では CN 開発テストを通して得られた知見を活かし、今後もカーボンニュートラルとエンターテインメントの向上に向けた活動を続けてまいります。

次回第3回カーボンニュートラル開発テストは9月26日(木)・27日(金)に富士スピードウェイ(静岡県駿東郡小山町)で実施予定となっており、27日の夕方にはテスト仕様の赤寅にて、近藤真彦 JRP 取締役会長による『SF23』でのテスト・ランも行われる予定です。メディアの皆様にはぜひご取材頂ますよう、お願いいたします。



<開発テストセッション後の報告会の様子>

開発ドライバー 塚越広大選手のコメント



「鈴鹿サーキットでのテストは2022年以來となりました。普段はこんなに暑いコンディションで走ることは無いのですが、そんな環境の中でカーボンニュートラル対応タイヤのテストだけでなく、ステアリングや、ECUなどの細かなパーツも含めて先行でテストができたことは、「開発テスト」らしいテストになりましたね。そんな中でもこの暑くて厳しい環境の中でタイヤがどのように反応するかを検証できたことは非常にプラスになりました。鈴鹿サーキットは他サーキットと比較してもタイヤに厳しい部分があるので、これからどの程度の改善が必要か、ケアしていかなければいけない部分がどのあたりにあるのかが、わかってきている部分も多くありますので有意義なテストになりました。細かなパーツに関しては、やはり制御系の細かなトラブルでもレースが台無しになりますので、テストを通じて少しでもリスクを減らしていけるのであれば、自分としても非常に嬉しいです。」

開発ドライバー 高星明誠大選手のコメント



「暑い鈴鹿ということでシーズンのカレンダーには無いシチュエーションでのテストになりましたが、ヨコハマタイヤの耐久性の確認はできましたし、去年良かったタイヤは、この環境の中でもやはり良かった感触が確認できました。またハードウェアのアップデートもいくつかありましたが不具合なくテストができました。TGR/TCOとしても確認したいアイテムも有りましたが、そこも無事に確認できま

したので総じて良いテストになったのではないかと思います。このままより良い方向に進めていけるようにドライバー含めてもっと精査していき、次の富士のテストに臨みたいと思います。」

9月26日(木)・27日(金) 第3回カーボンニュートラル開発テスト「取材申請フォーム」

https://x104.secure.ne.jp/~x104155/fsw_form/fswcalendar/courseform.php

本件に関する報道関係者のお問い合わせ先

株式会社 日本レースプロモーション

広報担当：上坂、上田

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 3-28-5 axle 御茶ノ水 3F-304

TEL. 03-5801-6470 FAX. 03-5801-6471

E-mail. media@superformula.net